

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	健康福祉総務課	氏名	森脇美紗子
派遣先 団体名	NPO法人もりふれ倶楽部		

(1)研修の日時

- ①7/15(月・祝) 森林ボランティア@目田森林公園
- ②8/11(日) みーもサマースクール(松江一中特別支援学級)@ふるさと森林公園
- ③9/15(日) さくらおろちの食べごと塾@奥出雲町 アトリエえん
- ④10/13(日) 里山自然塾@ふるさと森林公園

(2)研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)

①森林ボランティア

ボランティアの皆さんとともに、目田森林公園の山頂にある展望広場の草刈を行った。広場は背丈ほどもある草が生い茂っており使えない状態だったが、10名ほどで作業を行い最後には綺麗に刈り払われ、キャンプシーズンを迎える準備ができた。午後からは遊歩道のナラ枯れの木を伐倒するところを見学させていただき、道路の清掃等を手伝った。



草刈後の展望広場



伐倒されたナラ枯れの木

②みーもサマースクール

松江一中の特別支援学級に通う生徒と保護者が、森林公園内の散策、飾り炭づくり、たき火を使ったクッキーづくり、ネイチャークラフト(自然の草木を使った工作)等の活動を行った。私は主に活動記録用の写真を撮ったり、散策の際の見守りを行った。生徒たちを見送ったあとには、スタッフ全員で反省会が行われた。暑い盛りであり外を歩く時間を工夫する必要があるとか、草木を使った新しい遊びを開発したい、と言った意見が出された。毎回手さぐりながら、反省を生かしよりよい活動になるよう改善につなげられている。



ネイチャークラフトに挑戦

③さくらおろちの食べごと塾



このイベントはNPO法人さくらおろち主催、もりふれ倶楽部の協力で今年度は年4回シリーズで実施されている。この日は奥出雲町の古民家を改装した「アトリエ えん」で、仁多米やきのこなど地元の旬の食材を使った料理教室が行われた。今回も記録用写真の撮影、準備・片づけの手伝い等を行った。

地元横田や松江から30名近くの参加者があった。このシリーズは人気があり、すぐに定員に達するとのことだった。やはり食に関するイベントは関心が高いようだ。

料理教室の様子

④里山自然塾

もりふれ倶楽部主催で、月1回のペースでその季節ならではのイベントを行っている。この日は「秋の里山できのこ狩り」と題し、森林公園内を散策しながらきのこを採取し、専門家も交えてきのこの種類、可食か有毒か、などの判定を行った。私は記録用写真の撮影のほか、判定結果の記録などを行った。きのこは思いのほか、道路脇にもたくさん生えていたし、種類も多様であった。20名ほどの参加者があったが、皆さん専門家並に熱心に勉強しておられたのも印象的だった。



森林公園内に自生するきのこ



採取された多種多様なきのこ

(3)研修の感想

(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)

NPO法人もりふれ倶楽部は、森林ボランティアやその担い手を育てる活動(チェーンソー講習など)、自然観察会や里山を楽しむイベント、学校や企業に出向いての出前講座など、多岐にわたる活動をされている。特に平日はほぼ毎日小中学校への出前講座で埋まっており驚いた。このような地道な活動が森林保全への意識醸成につながると思う。

森林公園の整備などは利用者の安全につながる部分もあり、それがボランティアの手で行われていることにはやや疑問も感じた。なんでも行政が担うのではなく「県民の総力結集」でボランティアに活躍していただくことは大切だが、そこに甘えすぎるもの問題であり、バランスを考える必要があると思った。

最後になりましたが、野田事務局長さんをはじめ、もりふれ倶楽部のスタッフの皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。もりふれ倶楽部のイベントは魅力的なものがたくさんあり、また参加したいと思います。